

第43回帯広アイスホッケー連盟会長杯争奪全十勝新人ちびっこ大会 連絡事項

1. 新型コロナウイルス感染症対策について

- (1) (一財)北海道アイスホッケー連盟ホームページに掲載されている、「新型コロナウイルス感染症対応マニュアル(令和4年度有観客版)」について理解し、さらなる注意喚起、感染防止対策の徹底をお願いします。
- (2) 新型コロナウイルス感染症対策に関することも含め、アナウンス、競技役員、ゲームスーパーバイザーの注意に応じないなどの違反行為があった場合は、懲戒処分の審査対象とし、チームの失格、観戦を断ることを含む厳罰を課します。

2. 選手、監督・コーチ(チームスタッフ)の来場について

- (1) 選手及びチームスタッフはアリーナ1階中央の入口から入場してください。
- (2) 不織布マスクを着用し、手指の消毒を行ってください。
 - ① 不織布マスクは運動時のぞき、常時着用してください。
 - ② 消毒液は施設の入口に設置してあるアルコール消毒液などをお使いください。
- (3) 当日の体温測定と健康観察を行い、「団体用チェックリスト」を提出してください。

3. 控室等について

- (1) 控室の滞在時間を、できるだけ減らすよう心掛けてください。
 - ① 更衣は自宅などで行う。
 - ② 試合後の控室でのミーティングは禁止とする。
- (2) 控室では不織布マスクを着用し、社会的距離をとるよう努めてください。
- (3) 換気設備の常時運転をお願いします。
- (4) 窓を開けて、換気を行ってください。
- (5) 控室などのゴミは各チームで持ち帰って処分してください。

4. プレイヤーズ・ベンチ

- (1) 対戦表の左側チームは、オフィシャルボックスから見て左側のベンチを使用してください。
- (2) 選手以外のスタッフは不織布マスク・手指消毒など標準予防策をとってください。
- (3) ベンチ内は社会的距離を意識して工夫してください。
- (4) 選手への指示は飛沫感染を意識して少なめに、大声を出さないなど工夫してください。
- (5) タオル、飲水ボトル等を共用しないでください。
- (6) 後掲するレフェリーからの注意事項にもありますが、プレイヤーは、ラインズパーソンとの距離を保つため選手交代時以外は、ベンチに座ってください。

5. 試合進行等

- (1) 試合前

- ① 試合前の練習への入場は、前の利用団体が控室等に戻った後に行ってください。
- ② ブルーラインの整列は社会的距離（最低 1m）をとってください。
- ③ 試合開始に先立ち行うチーム代表者による挨拶は行わない。
 - (ア) 試合開始直前に行うレフェリーからの注意は書面で通知します。
 - (イ) ホームチームは対戦表の左側のチームとする。
 - (ウ) 後掲するレフェリーからの注意事項にもありますが、レフェリー、ラインズパーソンとの挨拶や握手などは行わない。
 - (エ) 相手チームスタッフとの挨拶は行わない。
- ④ 試合前に行う円陣は小さくならないように配慮し、エアータッチなどの工夫で接触を避けてください。

(2) 試合後

- ① ブルーラインの整列は社会的距離（最低 1m）をとってください。
- ② レフェリーや相手ベンチにはいかないでください。
- ③ ベンチに戻った選手から帰る準備を短時間で済ませ、退場してください。

6. 試合観戦について

- (1) 観戦者は、(一財)北海道アイスホッケー連盟ホームページに掲載されている、「令和4年度(一財)北海道アイスホッケー連盟 有観客試合開催にあたって アイスアリーナでの試合観戦におけるお願い」を参照してください。
 - ① アリーナ2階、東側の入口から入場してください。
 - ② よくフィットした不織布マスクを着用し、手指消毒液による消毒、体温測定を行ってください。
 - ③ アリーナ1階へは入場することはできません。1階のトイレやロビー・自販機の利用もできませんので、ご承知おきください。
 - ④ 感染状況によっては、無観客試合に変更になる場合もあります。

7. オフィシャル担当者の来場について

- (1) オフィシャル担当者はアリーナ西側玄関(職員玄関)から入場してください。
- (2) 不織布マスクを着用し、手指の消毒を行ってください。
 - ① 不織布マスクは運動時のぞき、常時着用してください。
 - ② 消毒液は施設の入口に設置してあるアルコール消毒液などをお使いください。
- (3) 当日の体温測定と健康観察を行い、「団体用チェックリスト」を提出してください。

8. その他

- (1) 令和2年4月1日より、帯広の森運動公園敷地内は禁煙です。
 - ① 加熱式たばこもご遠慮ください。
 - ② 駐車場、駐車中車内も禁煙です。
- (2) 連盟役員、オフィシャルは西側玄関(職員玄関)を利用すること。

9. レフェリーからの注意事項

(1) 防具

- ① ネックガードなどは、プレイ中に外れてレフェリー・ラインズパーソンが拾うことがないように正しく装着してください。

(2) 握手の禁止

- ① 試合前、試合後のレフェリー・ラインズパーソンとの握手はしないこととします。

(3) 試合中のプレイヤーズベンチ内のプレイヤー

- ① プレイヤーズベンチのプレイヤーは、ラインズパーソンとの距離を保つため選手交代時以外は、ベンチに座る事。ゲーム中に交代以外の選手がボード沿いに立っているのをレフェリーが確認できた場合は、チームスタッフに注意する(発見時は、都度、注意する事)。
- ② 状況が改善できない場合は、競技事業本部長に報告する。
- ③ 報告に基づき、連盟懲戒委員会において懲戒措置の審議・決定を行う。

(4) 唾を吐く行為

- ① 試合中にプレイヤーがリンク内に唾を吐く行為をレフェリー・ラインズパーソンが確認した場合は、当該プレイヤーに注意する。
- ② 状況が改善できない場合は、競技事業本部長に報告する。
- ③ 報告に基づき、連盟懲戒委員会において懲戒措置の審議・決定を行う。

(5) プレイヤーズベンチ内での発声

- ① ゲーム中及びゲーム中断時にプレイヤーズベンチ内でプレイヤーが、大声で叫ぶ行為やベンチスタッフがマスクを外して大声で叫ぶ行為をレフェリーが確認した場合は、当該チームに1度警告を与える。
- ② 警告後、同じチームプレイヤー及びベンチスタッフが行為を行った場合は、レフェリーは、アンスポーツマンコンダクトのペナルティーを科す。(MISC 10分)
- ③ ベンチスタッフが大声を出す行為でペナルティーを科せられた場合は、プレイヤーが代行しペナルティーベンチに入る。
- ④ プレイヤーズベンチから大声で叫ぶ行為は、確認出来たが、プレイヤー及びベンチスタッフを断定できない場合は、チームが指名したプレイヤーがペナルティー遂行する。チームがプレイヤーを指名出来ない場合は、レフェリーが指名出来る。
- ⑤ 上記ペナルティーは、感染症対策の一環であり、相手チームに利益を及ぼすペナルティーでは無い。
- ⑥ 大会中、この行為を繰り返すプレイヤー及びベンチスタッフについては、連盟懲戒委員会において懲戒措置の審議・決定を行う。

(6) 試合中断時のパック

- ⑦ 試合中断時のパックは、選手からレフェリー、ラインズパーソンへの手渡しはしない。プレイヤーは中断時のパックに触れない。
- ⑧ ゴールテンダーがパックを保持したことによりゲームが中断した場合、そのゴールテンダーはリンク上にパックを置き、ラインズパーソンがパックを拾い上げる事。

(7) 電子ホイッスル

- ① 飛沫防止のため、電子ホイッスルを使用いたします。プレイ中に誤って音が鳴ったり、音を鳴らすのが遅くなったりすることがありますので、ご了承ください。

(8) ユニホーム

- ① ユニホームの色が似ている場合はホームチームがベストを着用する。